



## 新 バード・ウォッチング&植物鑑賞会 たな只見の巨木を発見!?



▲ 只見の自然を楽しむ一日、しばし探鳥に夢中

5月10日、新緑真っ盛りのなか、今年も寄岩地内の大畑沢林道を歩きながらの春鳥観察と植物鑑賞会が行われました。

参加者は11人で、前日開催された只見の植物に関する講演会の講師「刈屋寿さん」にも参加いただき、林道沿いの植物について、説明していただきました。この日はハクセキレイやカルガモなどが確認できたり、所々でウグイスやオオルリなどのさえずりも聴こえました。途中でシロヤナギの大木を発見、「新たな只見の巨木が発見されました!」と刈屋さんの一言も飛び出し、春のひと時を楽しく過ごしました。

## 雨 第20回只見町民ハイキング の林は草木が生きいき



## 里 第1回町民の翼「風車の会」 山桜の苗木を20本寄贈

5月18日、町民の翼「風車の会」を代表され、角田藤彦さん、渡部敏彦さん、星美弥子さん、佐藤孝義さん、酒井典子さんの5名が来庁され、里山桜の苗木を20本寄贈されました。

この苗木は、町制施行50周年を祝し記念として贈られたもので、目録が角田藤彦さんから目黒町長に手渡されました。なお、植樹は8月1日の記念式典に合わせて行われる予定で、場所も今後決定されます。



▲ 目録を手渡す角田藤彦さん(左)

只見地区センターでは、5月17日に青少年旅行村いこいの森において、「第20回只見町民ハイキング」を行いました。

今回は、いこいの森施設内の遊歩道を歩いて、只見の自然に親しみながら森林浴を楽しもうという目的で行われ、当日は、雨の中にもかかわらず91名の参加者があり、今年からコースの自然について案内していただくガイドを3名お願いし、植生などを勉強しながらのハイキングとなりました。ゴールの後は、大抽選会も行われ、楽しい春の一日を過ごしました。

## 朝日小学校で大運動会 チームの勝利を信じベストをつくす



あきらめず勝利の道をかけぬける!

朝日小学校



がんばろう、自分のために、みんなのために。  
キラキラ輝けみんなの笑顔!

只見小学校



最後まで、あきらめない、それが明和っ子!

明和小学校



## 古い松の切かぶから… 「ウド」と「サンショウ」が、こんにちは!

数十年前に切られた松の切かぶに、仲良く「ウド」と「サンショウ」が根付いて、元気に成長しています。どちらも数年前に自生したもので、周囲を除草していた室井美代子さん(只見字原下)が発見されました。室井さんは、「このまま枯れずに大きくなって!」と笑顔で話しかけていました。



## 元 明和小学校児童が鮎を放流 気で早く大きくなってね!

6月3日、明和小学校の児童33名が明和橋上流の伊南川に約8センチメートルに育った鮎を放流しました。南会西部漁協の放流作業に毎年、児童が参加するもので、持参した入れ物に少しずつ、元気に泳ぎ回る鮎を分けてもらった児童は、うれしそうに川へ放流していました。この鮎が成魚となる夏には多くの太公望で伊南川もにぎわうことでしょう。



▲ 鮎を初めて手にした児童も上手に放流しました。